第３回飛騨市公共施設在り方検討部会

日　時：令和８年８月２６日（水）16:00～
場　所：飛騨市役所西庁舎３階大会議室

次　第

１．開会

２．部会長挨拶

３．説明事項
①飛騨市内の宿泊状況について　資料 No１
②山之村キャンプ場施設について　※資料当日配布

４．協議事項
①優先順位の考え方について（宿泊施設①）　資料 No２
②宿泊施設①の位置づけについて　資料 No３

③優先順位の考え方について（宿泊施設②）　資料 No４
④宿泊施設②の位置づけについて　資料 No５

⑤自由討議

⑥宿泊施設の方向性について　資料 No６

５．今後のスケジュールについて　資料 No７

６．閉会

令和７年　飛騨市全体と検討施設の宿泊状況

資料No１

※令和７年飛騨市観光統計より

地区区分（宿泊施設数）	市全体宿泊者延べ人数（人・泊）	うち検討９施設の宿泊延べ人数（人・泊）									
		まんがサミットハウス	ホテル季古里	やまびこ館	板倉の宿種蔵	なかんじょ川	アスク山王	ナチュールみやがわ	流葉オートキャンプ場	山之村キャンプ場	計（全体に占める割合）
古川（38）	36,025		4,138								4,138
											（4.9%）
河合（8）	5,597			2,176		640	332				3,148
											（3.7%）
宮川（9）	4,598	1,592			697			692			2,981
											（3.5%）
神岡（7）	10,170									714	714
											（0.9%）
流葉（18）	21,026								4,690		4,690
											（5.6%）
数河（7）	6,840										0
											（0.0%）
合計（87）	84,256	1,592（1.89%）	4,138（4.91%）	2,176（2.58%）	697（0.83%）	640（0.76%）	332（0.39%）	692（0.82%）	4,690（5.57%）	714（0.85%）	15,671（18.60%）

★公共施設が全体に占める割合

１８．６％

◆令和７年度　飛騨市コンベンション補助金事業延べ宿泊者人数

No.	種　類	古　川		数　河	河　合			宮　川		流　葉	種類別計 延べ宿泊者数
		民間施設	ホテル季古里	民間施設	民間施設	やまびこ館 ※1	アスク山王 ※1	民間施設	まんが王国	民間施設	
1	サッカー	1,305	418	2,018	452	451	22	0	0	2,935	7,601
2	ラグビー	82	175	1,079	73	0	0	0	78	1,176	2,663
3	アメフト	0	0	532	0	0	0	0	0	0	532
4	音楽	38	20	0	0	162	48	0	0	0	268
5	スキー・ボード	0	0	65	0	0	0	0	0	646	711
6	野球	0	0	304	0	67	31	56	0	259	717
7	学術	75	0	22	0	0	0	0	0	0	97
小計		1,500	613	4,020	525	680	101	56	78	5,016	12,589
地域別合計		2,113		4,020	1,306			134		5,016	12,589
うち 公共施設合計		613（29.0%）		0（0.0%）	781（59.8%）			78（58.2%）		0（0.0%）	1,472 （11.7%）

※１：やまびこ館、アスク山王は一体運用につき、やまびこ館収容人数オーバー分をアスク山王へ割り振り。

★公共施設がコンベンション事業全体に占める割合

１１．７％

★検討２０施設利用者の傾向（令和７年度実績より）　※再掲

種別	施設名		利用者数			利用者割合		備考
			R7年度	R6年度	前年度比増減	市民	市民以外	
温浴	①ぬく森の湯すぱーふる	温浴	40,091	39,527	564	70%	30%	
		食堂	1,783	2,115	▲ 332	70%	30%	
	②ゆぅわ～くはうす	温浴	20,265	20,808	▲ 543	80%	20%	
		食堂	13,220	13,204	16	90%	10%	
	③流葉温泉Mプラザ	温浴	46,755	47,134	▲ 379	47%	53%	
		食堂	15,714	18,794	▲ 3,080	40%	60%	
	④おんり～湯	温浴	11,454	11,890	▲ 436	60%	40%	
	（カフェテリア白木ヶ峰）	食堂	4,413	4,563	▲ 150	40%	60%	昼食のみ。宿泊夕食・宴会を含んでいない。
	⑤割石温泉		48,930	51,254	▲ 2,324	92%	8%	
宿泊	⑥まんがサミットハウス	宿泊/図書	1,562	1,506	56	5%	95%	
		日帰/図書	1,347	1,557	▲ 210	10%	90%	
	⑦ホテル季古里		4,619	4,815	▲ 196	5%	95%	
	⑧なかんじょ川	キャンプ場	640	1,008	▲ 368	10%	90%	
		釣り公園	2,945	3,218	▲ 273	20%	80%	
	⑨アスク山王		401	449	▲ 48	5%	95%	
	⑩やまびこ館		3,116	3,413	▲ 297	30%	70%	
	⑪板倉の宿種蔵		909	1,042	▲ 133	5%	95%	
	⑫ナチュールみやがわ		692	1,000	▲ 308	10%	90%	
	⑬流葉オートキャンプ場		4,843	5,925	▲ 1,082	2%	98%	
	⑭山之村キャンプ場	キャンプ場	1,112	514	598	5%	95%	
		食堂	785	348	437	40%	60%	
スキー	⑮飛騨かわいスキー場		9,996	16,415	▲ 6,419	85%	15%	
	⑯ひだ流葉スキー場		32,632	44,102	▲ 11,470	20%	80%	
人工芝	⑰ふれあい広場　※１		19,049	16,012	3,037	10%	90%	
	⑱古川ラグビー場　※１		9,830	5,600	4,230	0%	100%	
	⑲流葉交流広場		8,750	11,520	▲ 2,770	5%	95%	
	⑳杉崎公園グラウンド		13,661	17,885	▲ 4,224	62%	38%	

※１　利用者数はグラウンド全体の利用者数

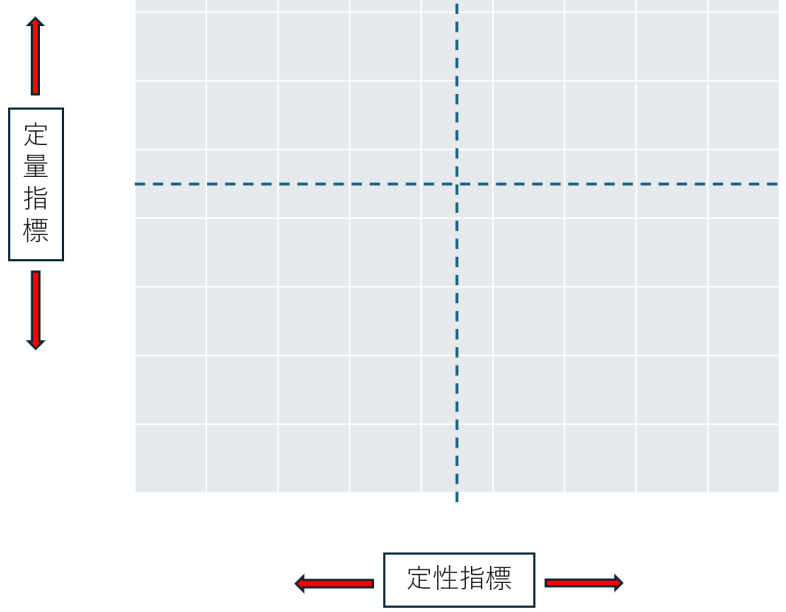
【第２回部会資料の再掲】
数値は宿泊者も含む施設利用者数
※なかんじょ川施設をキャンプ場と釣り公園利用者に分類。
※年度集計のため宿泊観光統計数値との差異在り。

検討施設の優先順位の考え方（宿泊施設①）

共通事項：公の施設の定義（地方自治法）である
「住民の福祉を増進する目的をもってその利用に供される施設」であるか

１．定量指標
　①市負担額（ランニングコスト）の優位性
　②当初整備事業費の多寡
　③利用者数、利用頻度
２．定性指標
　①代替となりうる施設の有無
　②市民生活における必需度
　③地域経済への影響
　④その他

優先順位配置図



★定性指標における検討のポイント（宿泊施設①）

No.	施設名	検討の個別ポイント	施設廃止した場合の影響	共通ポイント
1	まんがサミットハウス	・施設の機能として、宿泊（6室38名）と、まんが図書館がある。 建築年：H5 ・おんり～湯、カフェテリア白木ヶ峰との一体利用施設。 ・宿泊は主に一般客のほか、アユ釣り客、声優塾（年1回3泊4日の合宿）での利用。 ・声優塾は騒音への配慮やアクセスの仕方などから、まちなかや他の郊外の宿泊施設では代替になりにくい。 ・毎年１回声優イベントの開催あり。	・賢プロダクションによる声優塾（合宿）の開催が困難となる。 ・現在の声優イベントはまんが王国で育ったプロ声優の当時の思い出などをコンセプトにトークショーを実施しているため趣旨が合わなくなる。 ・まんが図書館の機能自体は、他の場所へ移設しても影響は少ない。 ・隣接するおんり～湯の利用に一定程度影響が出る。 ・アユ釣り客の利用もあるが必須ではない。（RVパーク在り）	・宴会受け入れ施設もあるが、宿泊に関しては市民利用は少ない。公の施設の定義である「市民の福祉を増進する目的」に対する意義（行政目的）は薄く、市民生活への影響は少ない。 ・公の施設の意義からも、施設の大規模改修や建替えは現実的でない。 ・装置産業施設であり、設備投資しながら魅力を維持向上する必要があるが、リニューアルに投資する財政的な余力はない。 ・市全体として宿泊施設不足、担い手・後継者不足が課題となっているが、特別な事情がなければ市内民間宿泊施設は全て代替となりえる。
2	ホテル季古里	・宿泊規模は27室、最大84名。建築年：H8 ・隣接するふれあい広場等でのサッカー大会、合宿での団体利用が多い。 ・ランチの提供や市内団体の宴会受入れも行っている。 ・古川駅東開発においてホテル整備計画があり、競合することが考えられる。 ・指定管理料０円での運営施設。 ・高山市の宿泊需要に影響を受ける。 ・すぱーふるから温泉水、飲料水の供給を受けている。	・サッカー大会会場と隣接していることから大会参加者等の利便性が低下する。 ・施設廃止によってサッカー大会自体が中止になることはない。 ・宿泊施設の中では最も収容規模が大きく、サッカー大会においては配宿の重要な選択肢がなくなる。	
3	やまびこ館	・宿泊規模は12室、最大40名　建築年：H10 ・音楽合宿の利用が多いほか、市内の規模の大きいサッカー大会時などにも利用されている。 ・音楽合宿（金木博幸氏）は騒音への配慮のほか、金木氏と地域との特別なつながりがあるため、他の施設では代替になりにくい。 ・市内団体の宴会受け入れあり。 ・アスク山王との一体運営で、スキー客・釣り客・自然散策客の一部利用在り。	・市の進める「飛騨市を舞台とした若手音楽家・芸術家の育成プロジェクト」に影響が出る可能性がある。 ・サッカー大会における配宿の選択肢がなくなる。	
4	板倉の宿種蔵	・宿泊規模は3室・最大10名。（離れ2棟あり・最大10名） 建築年：H19 ・町村合併後に整備されたため比較的新しい施設。建物の耐用年数も超過していない。 ・施設の位置づけは観光施設ではなく地域振興施設。地域活性化と景観保全（棚田・板倉）を図る目的を持つ。※飛騨市種蔵山里の暮らし体験施設条例 ・近年はコロナ前より利用者が増加傾向にある。 ・毎年実施されるそばまつり時にも休憩施設などで利用がある。 ・これまで指定管理者が定着せず、指定管理者制度開始から４回指定管理者が交代している。	・地元種蔵区と市が組織する「飛騨市ふるさと種蔵村」の活動において影響は限定的だが、関係人口交流の場が一つなくなる。	

各指標における評価（宿泊施設①）

評価項目		まんがサミットハウス	ホテル季古里	やまびこ館	板倉の宿種蔵
定量指標	市負担額	1	6	8	9
	当初施設整備費	4	1	7	9
	利用者数	5	9	6	1
	小計	10	16	21	19
	優先度	B－	B+	A－	A－
定性指標	代替施設の有無				
	市民生活				
	地域経済				
	その他				

評価項目		まんがサミットハウス	ホテル季古里	やまびこ館	板倉の宿種蔵
定量指標	市負担額	C－	B+	A	A+
	当初施設整備費	B－	C－	A－	A+
	利用者数	B	A+	B+	C－
定性指標	代替施設の有無				
	市民生活				
	地域経済				
	その他				

評価と配点	
評価	点数
A+	9点
A	8点
A－	7点
B+	6点
B	5点
B－	4点
C+	3点
C	2点
C－	1点

★定量指標項目別判断基準（宿泊施設①）

評価項目	C－	C	C+	B－	B	B+	A－	A	A+	適用数値
市負担額（コスト）	1,550万円～	1,400～1,550万円	1,250～1,400万円	1,100～1,250万円	950～1,100万円	800～950万円	650～800万円	500～650万円	350～500万円	第１回部会資料No５　２0施設近年の運営状況（総括）「コスト・市負担額」の単年度平均負担額
当初整備費	9億以上	8億～9億	7億～8億	6億～7億	5億～6億	4億～5億	3億～4億	2億～3億	1億～2億	下記宿泊施設①の当初整備事業費より
利用者数	500～1,000人	1,000～1,500人	1,500～2,000人	2,000～2,500人	2,500～3,000人	3,000～3,500人	3,500～4,000人	4,000～4,500人	4,500人以上	第２回部会資料No２　令和７年度利用者数実績より

★宿泊施設①の当初整備事業費　※現在取得価額に換算（国交省建設工事デフレーター）単位：千円

種別	施設名	建物 取得価額	工作物 取得価額	物品 取得価額	計 取得価額	取得年度
宿泊施設①	まんがサミットハウス	612,020			612,020	H5
	ホテル季古里	1,003,076			1,003,076	H8
	やまびこ館	344,616	900		345,516	H10
	板倉の宿種蔵	144,443		2,739	147,182	H19

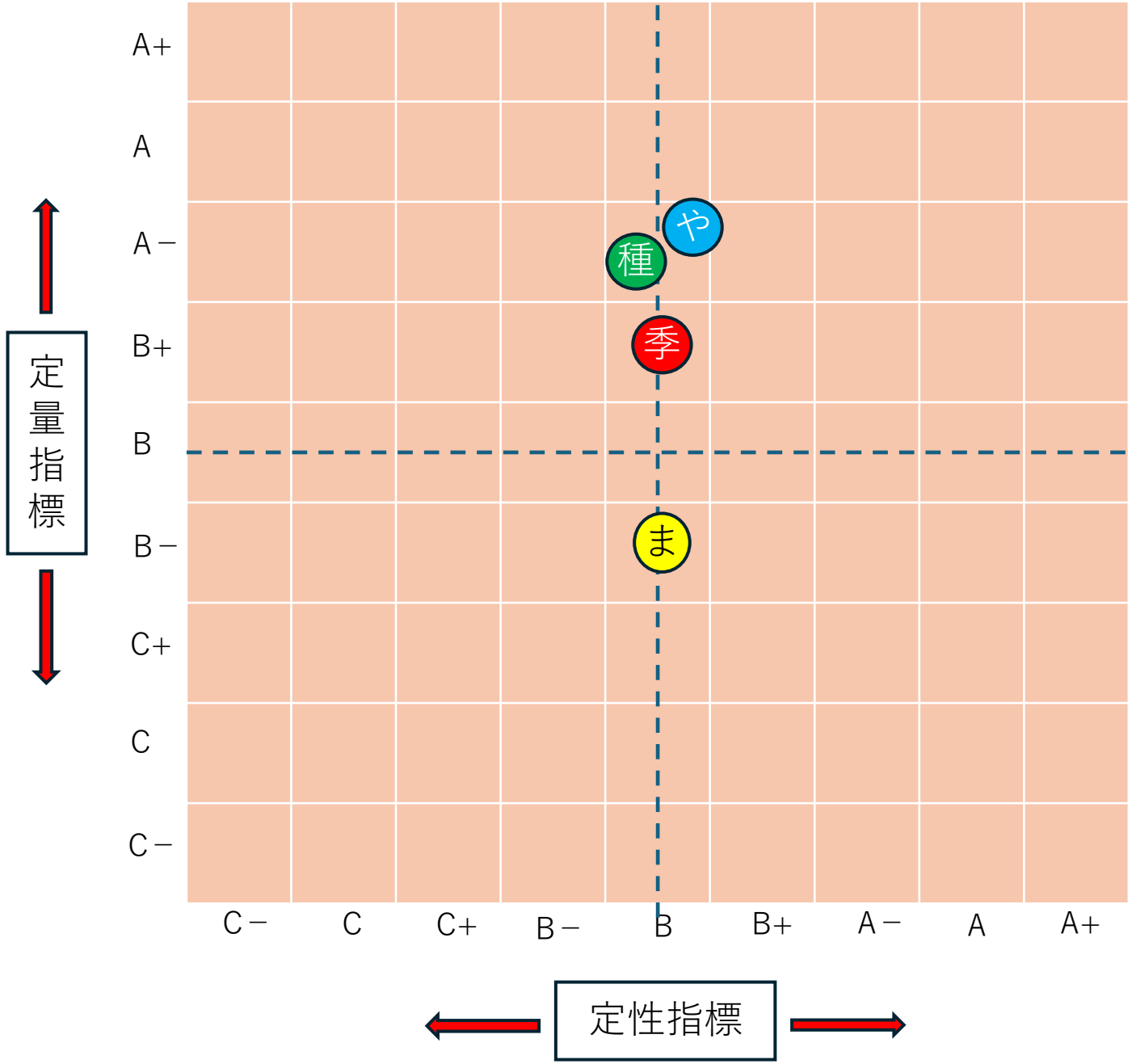
★定量指標における優先度判断基準

優先度	C－	C	C+	B－	B	B+	A－	A	A+
	1点～3点	4点～6点	7点～9点	10点～12点	13点～15点	16点～18点	19点～21点	22点～24点	25点～27点

宿泊施設①

優先順位配置図

資料No３



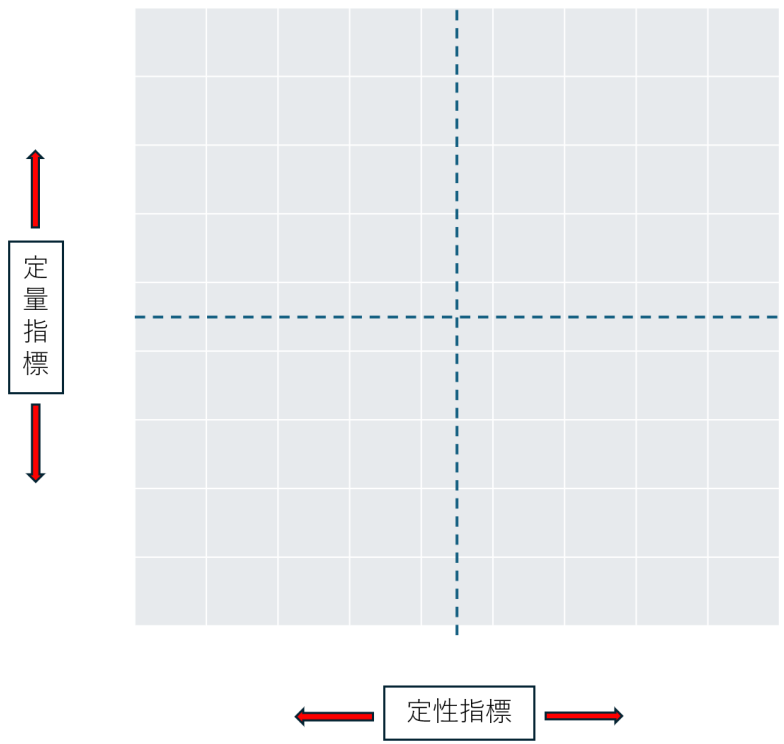
- まんがサミットハウス
- ホテル季古里
- やまびこ館
- 板倉の宿種蔵

検討施設の優先順位の考え方（宿泊施設②）※キャンプ場

共通事項：公の施設の定義（地方自治法）である
「住民の福祉を増進する目的をもってその利用に供される施設」であるか

１．定量指標
　①市負担額（ランニングコスト）の優位性
　②当初整備事業費の多寡
　③利用者数、利用頻度
２．定性指標
　①代替となりうる施設の有無
　②市民生活における必需度
　③地域経済への影響
　④その他

優先順位配置図



★定性指標における検討のポイント（宿泊施設②）※キャンプ場

No.	施設名	検討の個別ポイント	施設廃止した場合の影響	共通ポイント
1	なかんじょ川	・宿泊規模はバンガロー12棟48名、テント15サイト51名 建築年：S61～H8 ・人工河川での魚つかみ体験は他に無い特徴となっている。 ・令和７年度指定管理者の公募では応募者なし。 ・令和8年度はサウンディング型市場調査に伴い、試行的に民間により短期営業。 ・過去にアクセス道への落石により通行止めとなった経緯在り。 ・施設の位置が土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）に指定されている。 ・シャワー室あり。	・人工河川は市内保育園など、子どもを中心とした利用がある。	・宿泊に関しては市民利用は少ない。公の施設の定義である「市民の福祉を増進する目的」に対する意義（行政目的）は薄く、市民生活への影響は少ない。 ・公の施設の意義からも、施設の大規模改修や建替えは現実的でない。 ・市内のキャンプ目的の施設はこのほかに３施設（森林公園、かわいスキー場NOASOBI、梨ケ根）あり。 ・主に市民以外を対象としたレクリエーション施設であり、廃止による影響はいずれも限定的。 ・流葉コテージ以外は、冬季休業施設。
2	アスク山王	・宿泊規模はコテージ5棟・最大21名。その他、研修施設棟などもあるが利用されていない。建築年：H1～H10 ・音楽合宿や規模の大きいサッカー大会ではやまびこ館と一体での宿泊利用在り。 ・やまびこ館との一体運営。	・やまびこ館と一体に受け入れていた団体キャパシティが減る。	
3	ナチュールみやがわ	・宿泊規模はコテージ６棟・最大３５名。その他、調理棟（バーベキュー）、創作棟あり。建築年：H6～H13 ・団体利用の受け入れも可能。 ・地域主体イベント「こいこい花火」の会場となっている。（年１回） ・令和７年度までは指定管理料０円での運営施設。 ・シャワー室在り。	・宿泊機能と地域イベント自体は関連性なし。	
4	流葉オートキャンプ場	・宿泊規模はコテージ９棟・最大６８名、テント３５区画・最大１４０名+フリーサイト　建築年：H9～H11 ・冬季はスキー客の利用もあり。 ・スキー場、Mプラザとの一体利用施設となっている。 ・コテージは年中無休。 ・テントサイト利用者はMプラザ温浴施設利用。	・スキー場や、Mプラザの利用者数が減る可能性がある。	
5	山之村キャンプ場	・宿泊規模はバンガロー６棟・最大２４名、コテージ５棟・最大３９名、キャンプサイト８区画・最大４８名+フリーサイト。 建築年：S51～H8 ・隣接する夕顔の駅（食堂）、高原の駅（トイレ）との一体運営。 ・食堂は山之村牧場や民間との競合あり。 ・登山者（天蓋山、北ノ俣）のテント利用が多く天蓋山の登山口となっている。 ・バンガロー、コテージは他の施設と比較しても老朽化が著しい。 ・シャワー室在り。	・キャンプ機能に関して影響は少ないが、その他、登山者等の休憩（トイレ含む）場所がなくなる。	

各指標における評価（宿泊施設②）※キャンプ場

評価項目		なかんじょ川	アスク山王	ナチュールみやがわ	流葉オートキャンプ場	山之村キャンプ場
定量指標	市負担額	5	8	9	3	4
	当初施設整備費	1	7	1	8	7
	利用者数	8	1	2	9	4
	小計	14	16	12	20	15
	優先度	B	B+	B−	A−	B
定性指標	代替施設の有無					
	市民生活					
	地域経済					
	その他					

評価項目		なかんじょ川	アスク山王	ナチュールみやがわ	流葉オートキャンプ場	山之村キャンプ場
定量指標	市負担額	B	A	A+	C+	B−
	当初施設整備費	C−	A−	C−	A	A−
	利用者数	A	C−	C	A+	B−
定性指標	代替施設の有無					
	市民生活					
	地域経済					
	その他					

評価と配点	
評価	点数
A+	9点
A	8点
A−	7点
B+	6点
B	5点
B−	4点
C+	3点
C	2点
C−	1点

★定量指標項目別判断基準（宿泊施設②）

評価項目	C−	C	C+	B−	B	B+	A−	A	A+	適用数値
市負担額（コスト）	340万円～	310～340万円	280～310万円	250～280万円	220～250万円	190～220万円	160～190万円	130～160万円	100～130万円	第１回部会資料No５　２０施設近年の運営状況（総括）「コスト・市負担額」の単年度平均負担額
当初整備費	4億4千万円～	4億1千～4億4千万円	3億8千～4億1千万円	3億5千～3億8千万円	3億2千～3億5千万円	2億9千～3億2千万円	2億6千～2億9千万円	2億3千～2億6千万円	2億～2億3千万円	下記宿泊施設②の当初整備事業費より
利用者数	0～500人	500～1,000人	1,000～1,500人	1,500～2,000人	2,000～2,500人	2,500～3,000人	3,000～3,500	3,500～4,000人	4,000人以上	第２回部会資料No２　令和７年度利用者数実績より

★宿泊施設②の当初整備事業費　※現在取得価額に換算（国交省建設工事デフレーター）単位：千円

種別	施設名	建物 取得価額	工作物 取得価額	物品 取得価額	計 取得価額	取得年度
宿泊施設②	なかんじょ川　宿泊施設	282,775	166,273	906	449,954	S61～H8
	アスク山王	258,780	900	3,601	263,281	H1～H10
	ナチュールみやがわ	485,911	12,810	736	499,457	H6～H13
	流葉オートキャンプ場	254,971		1,897	256,868	H9～H11
	山之村キャンプ場	250,652	17,624		268,276	S51～H８

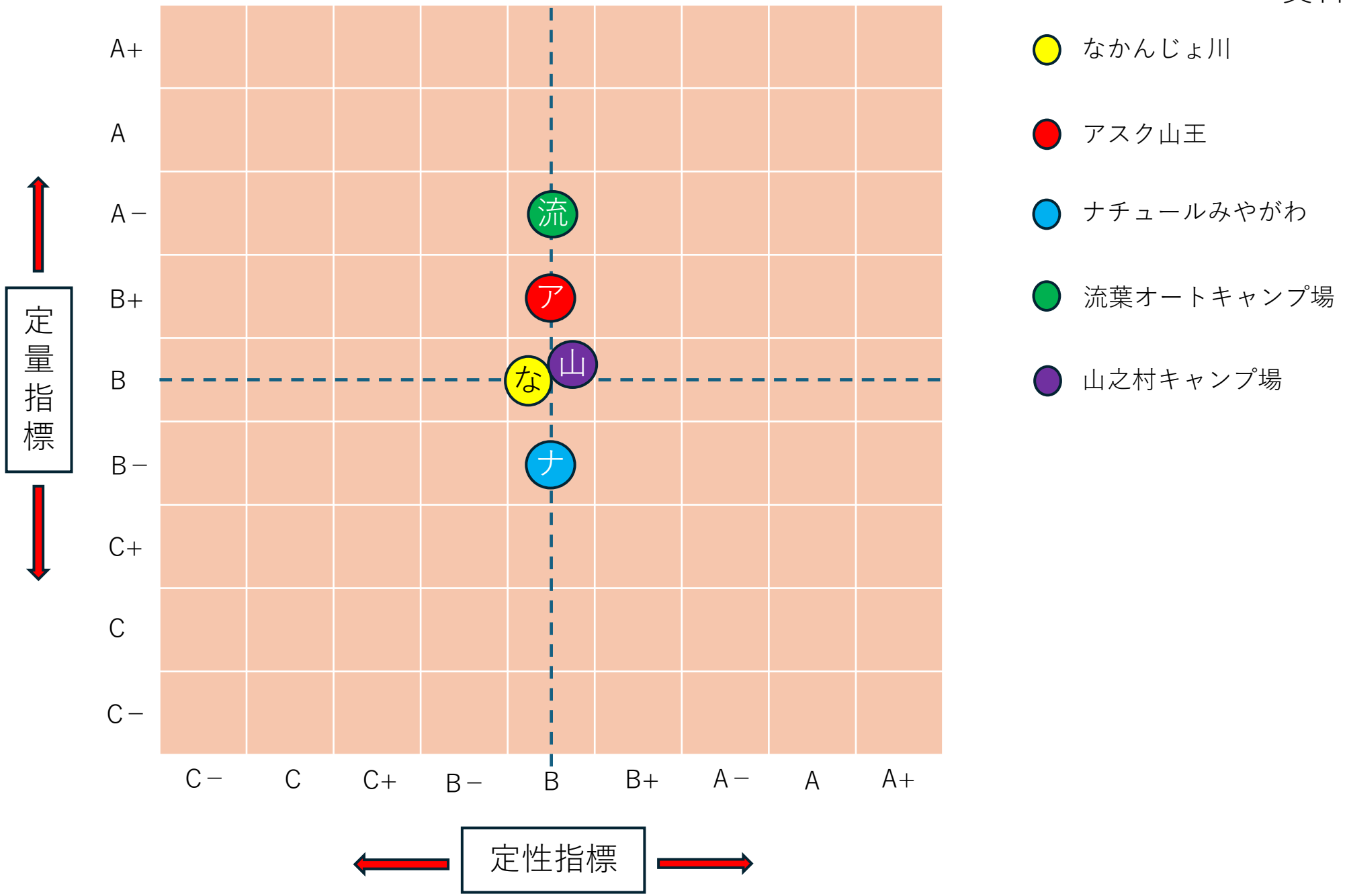
★定量指標における優先度判断基準

優先度	C−	C	C+	B−	B	B+	A−	A	A+
	1点～3点	4点～6点	7点～9点	10点～12点	13点～15点	16点～18点	19点～21点	22点～24点	25点～27点

宿泊施設②

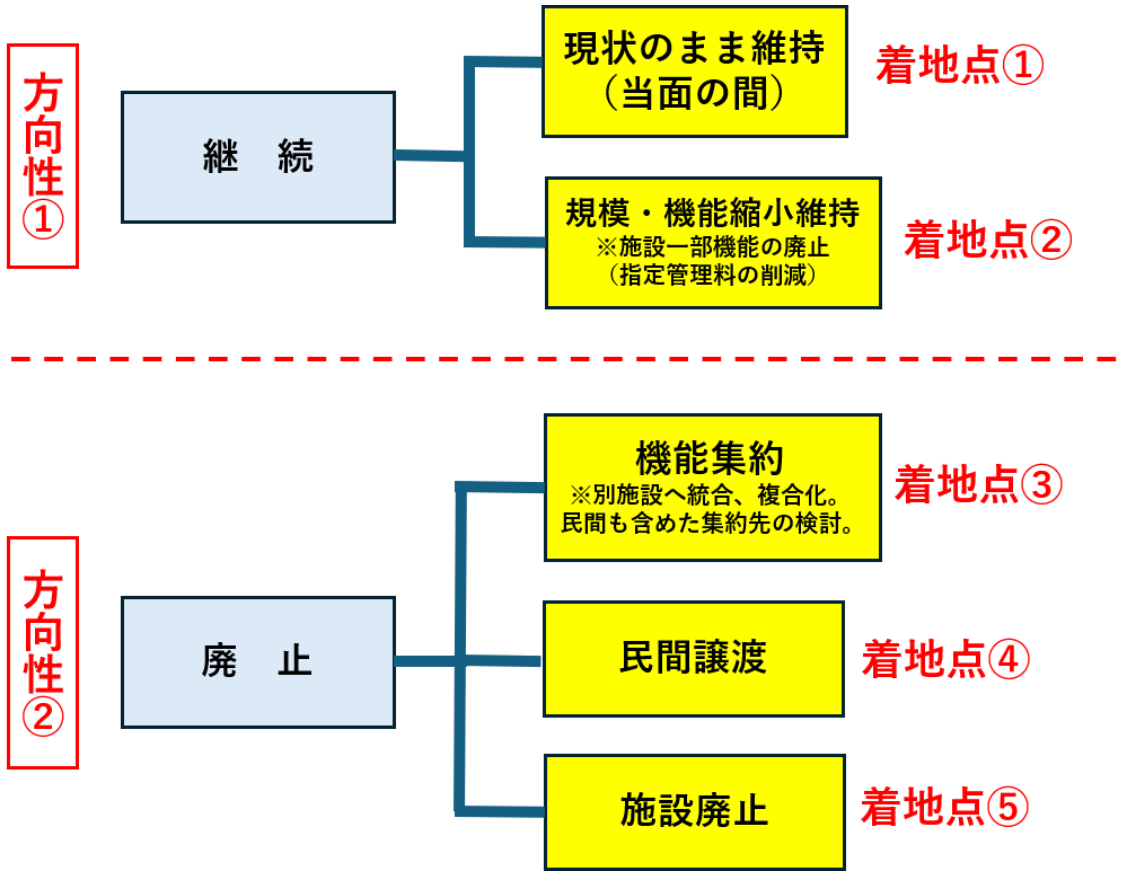
優先順位配置図

資料No５



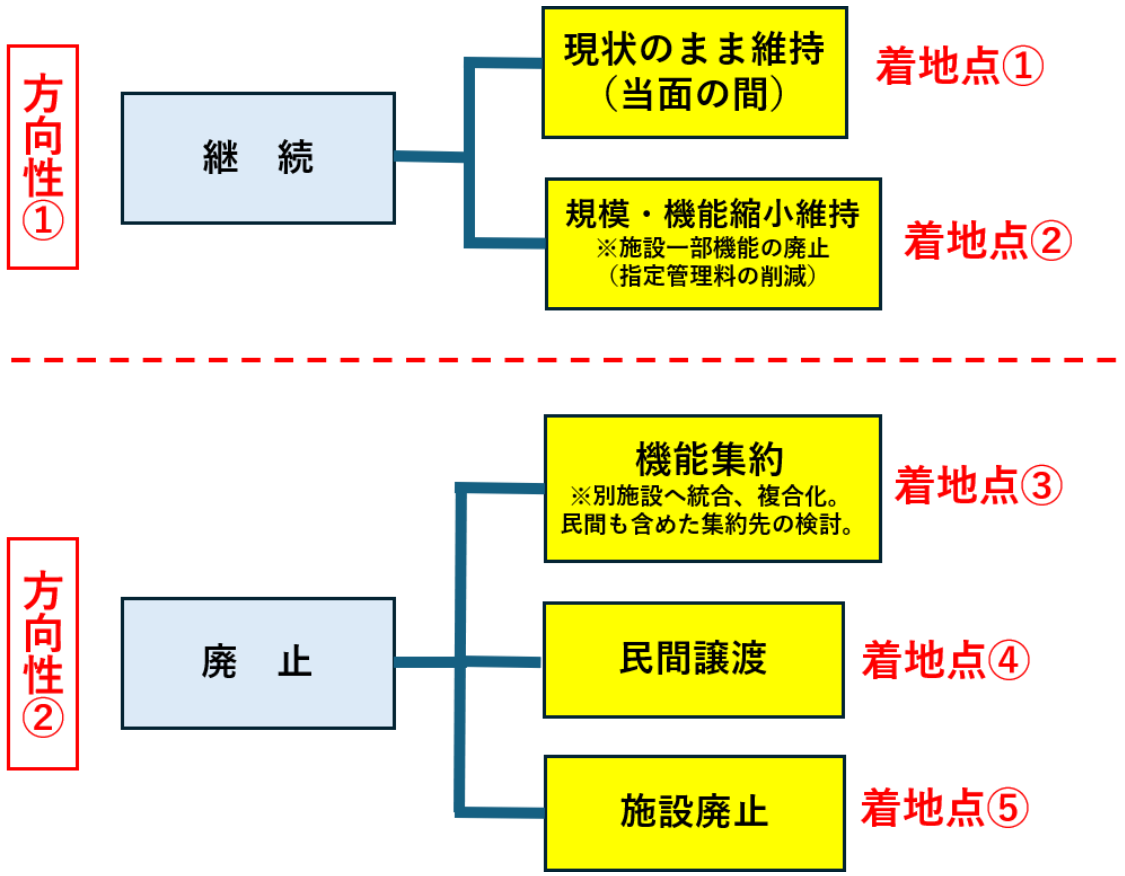
宿泊施設①の方向性と着地点

施設名	方向性	着地点
まんがサミットハウス		
ホテル季古里		
やまびこ館		
板倉の宿種蔵		



宿泊施設②の方向性と着地点

施設名	方向性	着地点
なかんじょ川		
アスク山王		
ナチュール みやがわ		
流葉オート キャンプ場		
山之村キャンプ場		



○令和８年度公共施設在り方検討部会スケジュール（案）　資料No 7

９月	・9/29　第４回公共施設在り方検討部会（人工芝・スキー場））
１０月	・10/26　第５回公共施設在り方検討部会（全種方向性・順位議論）
１１月	・11/中旬　第３回庁内会議
	・11/下旬　第６回公共施設在り方検討部会（方向性・順位まとめ）
１２月	・12/初旬　検討部会における結論まとめ
	・12/21　総合政策審議会、市長へ報告
１月	検討部会まとめを受けての市方針決定・公共施設各計画改訂
２月	・2/19　議会全員協議会へ報告
３月	検討部会提言、改訂計画の公表

※スケジュールの進捗、状況などについて随時執行部協議を実施